

森の生きものさがし

1 わらい

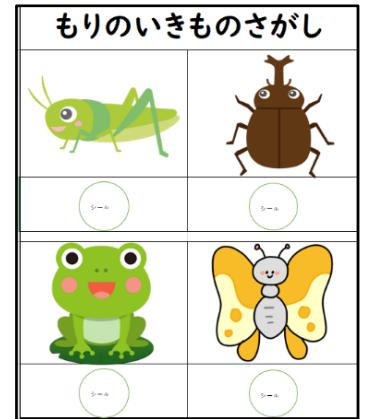
親子（幼児）で自然での活動を通して触れ合い交流を深めるとともに、自然の中での活動の良さを味わう。

2 指導のポイント

- (1) ゲームを通して生きものに関心をもたせる。
- (2) 土や葉や幹に触れ合いながら活動することで、自然の良さをを感じる。
- (3) 親子でふれあいながら、協力して行う。（親子行事の場合）

2 コースと所要時間

GG 場 北側樹木園（施設内）
20分～30分（説明5分、振り返り5分）



3 準備物（施設）

- ・ 森の生きものさがしシート（右上のカード1人1枚）・ 探検バッグ ・ シール
- ・ ダックコール（集合の合図）・ 看板見本 ・ 看板設置地図

※ 各団体には、肌をあまり露出しない服装、ブルーシート、帽子、飲み物等必要に応じて準備してもらう。

4 出発前の説明・準備（用具等を配布）

はじめに

この森にいる動物や昆虫について幼児の関心のある話をする。（リス・タヌキ・とんぼなど）
タヌキの習性の話と共にためフンの写真を見せて注意喚起する。（北側樹木園にタヌキのフンあり）

- (1) 「森の生きものさがし」シートを参加者に配付し（1人1枚）、生きものリストを読みあげながら書かれている生きものについて、どのような場所にいるかを質問する。
（実際の看板の高さは、生きものがいる高さに設定してあることを説明する。）
- (2) 森の中に看板が隠れていることを説明する。（見本の看板を見せる）
シートにある、生きもの看板を見つけたら、シートの生きもの下にシールをはる。
- (3) 生きものが隠されている範囲と探索時間、集合の合図と集合場所を説明する。
- (4) 集合場所で合図の笛をふき、シートを回収する。
表示された生きもの看板を探せたか、活動状況を確認する。（勝ち負けではないので、数の優劣はつけない）

まとめ・感想発表

- (5) 参加親子の感想を聞く。
活動の間で見つけた生きもの、身近な野生の生きものにも触れ、まとめとする。

確認事項

- ・ 事前の下見を行う。（草刈りの有無。看板設置場所確認）
- ・ 危険物（ヘビ、ウルシ）の確認 ・ 動物の死骸や糞の確認。
- ・ 熱中症に留意し、水分補給を適宜行うよう団体担当者に確認。